

1 概況

摘採は、各地区でばらつきがあるものの、冷蔵網で1～5回目、秋芽網では4～7回目を実施しています。植物プランクトンは漁場によりまちまちですが、知多半島西岸地区北部で顕著に増加しました。栄養塩は、知多地区のほぼ全域で不足しています。西三河地区では、西部でやや少なく、中部から東部にかけては、ばらつきがあるものの十分量ありました。寒気が去り、気温が上昇したためか、あかぐされ病が散見されるとの報告が各地から寄せられています。漁期は終盤に入りましたが、今後も、適切な干出や早期摘採等による網管理を心がけ、少しでも長い期間生産できるよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月26日			<水温> 2月27日			<潮位偏差> 2月26日		
2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	6.9℃	漁生研 (-1.0m)	10時水温	9.6℃	名古屋港	日平均偏差	-8 cm
	平年差	-1.0℃		平年差	-0.3℃		5日平均偏差※	-13 cm

※2月22日～26日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや少ない、中南部: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～多い
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	西部: やや少ない、中東部: 多い～やや多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間予報より 予報期間: 2月28日から3月5日まで)

今後1週間	平均気温は高い日が続くでしょう。特に週末から月曜日は、気温が上昇して暖かい日となるでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～5回	300～1,000枚	色調は良くないが一部で回復傾向	一部でカモ	一部で秋芽網と後期冷蔵網生産
知多東岸地区	秋芽: 5～7回	400枚	色調は良くないが一部で回復傾向	なし	一部で冷蔵網生産 一部で生産終了
西三河地区	冷蔵: 4～5回	600～900枚	色調はまずまず一部で低下傾向	なし	一部で秋芽網生産 病障害なし
東三河地区	秋芽: 4～5回	1,500枚	色調、伸び回復傾向	なし	荒天により摘採できない日が多い

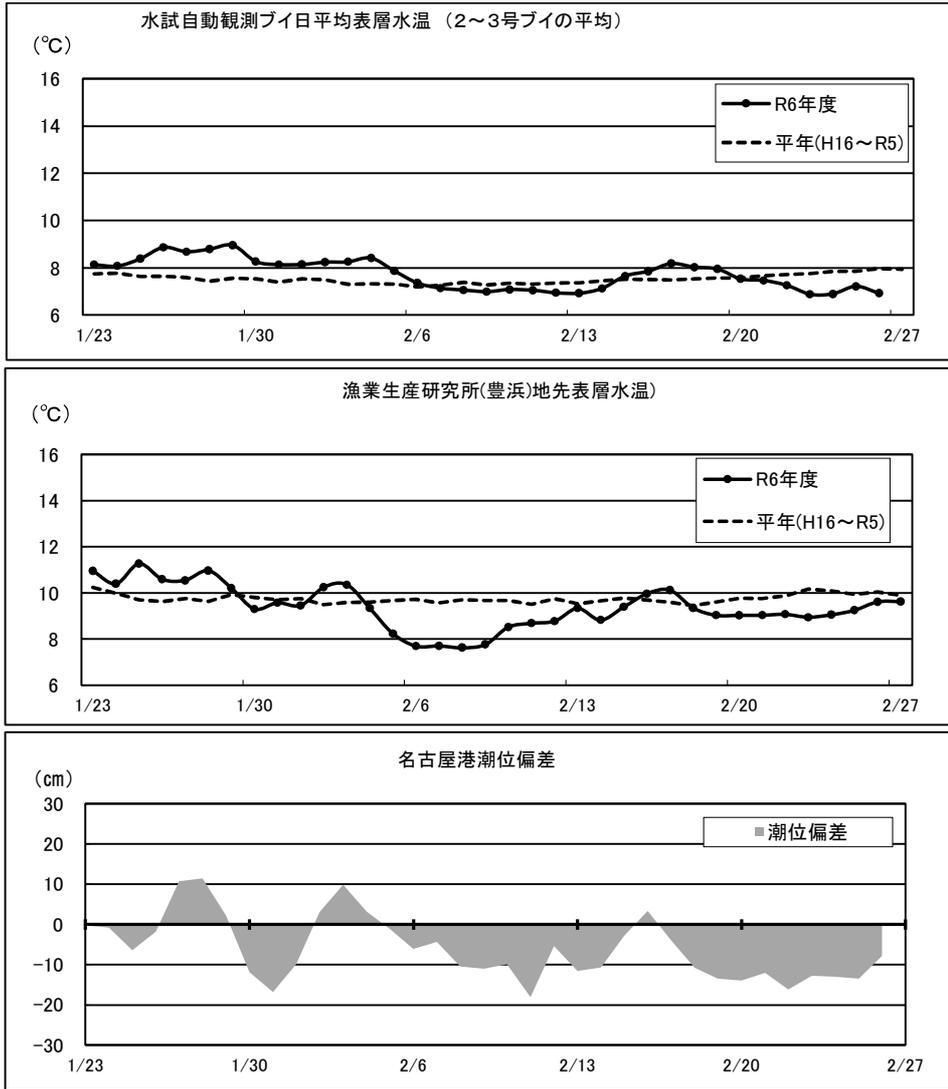
4 今後の管理

- あかぐされ病蔓延防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

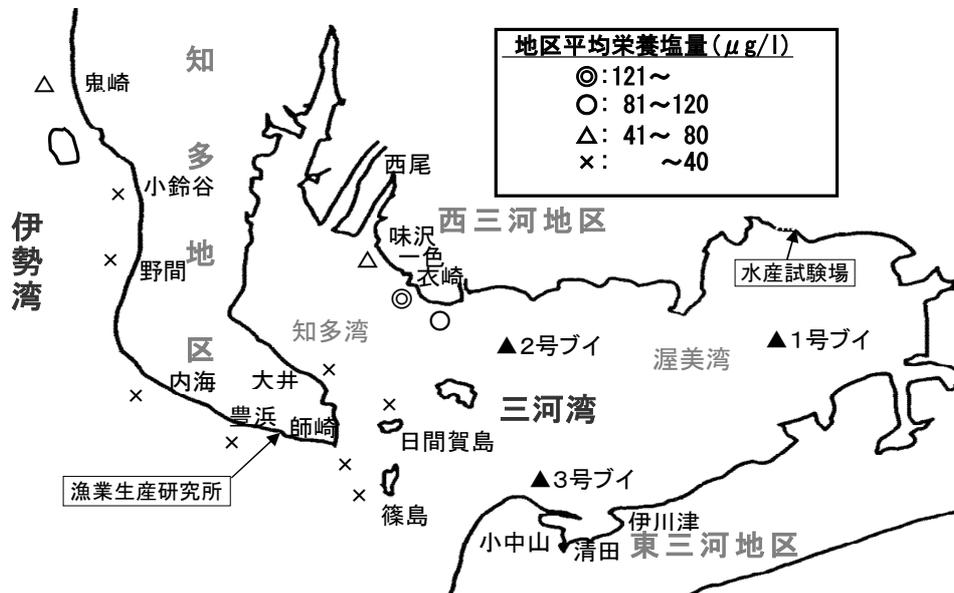
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ令和6年度の「のり養殖情報」は今回で終了です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多: 2月27日(木)、西三河: 2月26日(水)、東三河: 調査終了
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会